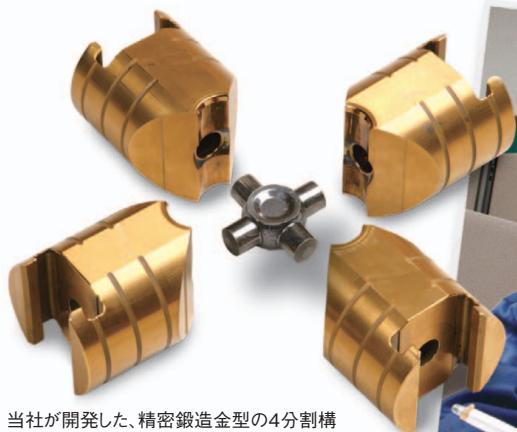


株主通信 Vol.15 2009年3月期 2008.4.1～2009.3.31

INSIGHT & INFORMATION



当社が開発した、精密鍛造金型の4分割構造。この機構により、写真のような十字型の自動車部品のネットシェイプ加工（切削なしの一回のプレスでの成型）を実現します。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

証券コード 6467

ニチダイグループの3つの事業とグローバル展開

ネットシェイプ事業

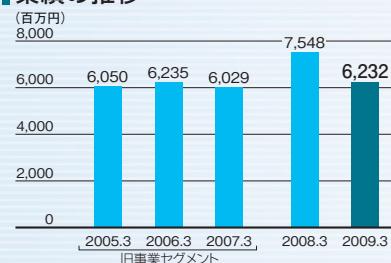
Net-Shape Business



理想の加工技術「ネットシェイプ」をコア技術に、精密鍛造金型の開発、設計、生産および精密鍛造品の生産までトータルに展開。

エコカー開発とアジア新興市場での拡大を課題とする自動車業界に向けて、技術と製品を積極的に提案し、新たな需要を掘り起こします。

業績の推移



アッセンブリ事業

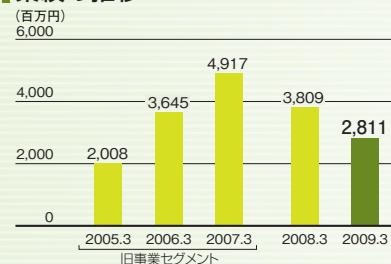
Assembly Business



ディーゼルエンジン車に搭載され、環境負荷物質の排出を抑制する「VGターボチャージャー」の部品を組立生産する事業を展開。

主に欧州向けディーゼルエンジン乗用車に搭載され、環境保全に必要な不可欠な部品として、今後の需要拡大が見込まれています。

業績の推移



フィルタ事業

Filter Business



複数のステンレス金網を焼結したフィルターの開発・生産を担い、顧客業界は化学、医薬品、食品など多様な業界に広がっています。

今後も、排ガスフィルターなどの新製品、新用途開発を進めていきます。

業績の推移



* ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の2007年3月期以前の業績は旧事業セグメントで記載しています。

海外での事業活動

事業拠点



ニチダイ

ニチダイグループを統括。金型部門、精密鍛造品部門の技術を融合し、グループシナジーを追求。



ニチダイU.S.A.

米国・オハイオ州に設立した金型営業拠点。

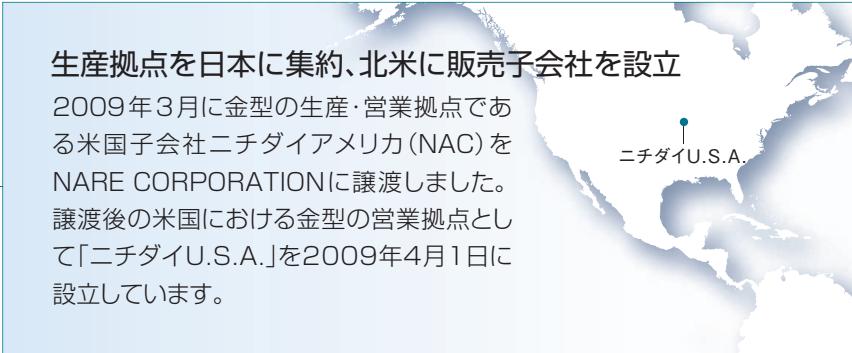


ニチダイ アジア

金型部門におけるアジアの営業拠点としてタイ・バンコクに設立。

生産拠点を日本に集約、北米に販売子会社を設立

2009年3月に金型の生産・営業拠点である米国子会社ニチダイアメリカ(NAC)をNARE CORPORATIONに譲渡しました。譲渡後の米国における金型の営業拠点として「ニチダイU.S.A.」を2009年4月1日に設立しています。



ニチダイU.S.A.

事業拠点



ニチダイ プレシジョン

成長期にあるVGターボチャージャー市場に柔軟かつ機動的に対応するため関連部門を分社化。

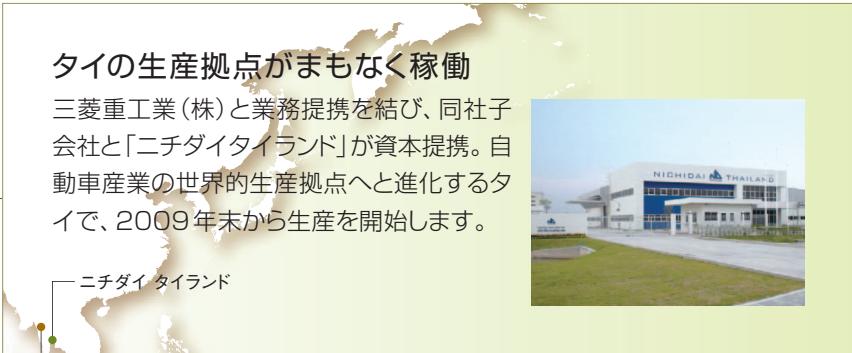


ニチダイ タイランド

VGターボチャージャーの世界的な生産拠点へと進化するタイで、部品組立事業を担う拠点。

タイの生産拠点がまもなく稼働

三菱重工業(株)と業務提携を結び、同子会社と「ニチダイタイランド」が資本提携。自動車産業の世界的生産拠点へと進化するタイで、2009年末から生産を開始します。

ニチダイ タイランド

タイシンタードメッシュ

事業拠点



ニチダイ フィルタ

独自の積層焼結技術により、高品質で耐久性に優れ、洗浄すれば何度でも再利用可能なフィルター製品を開発。



タイシンタードメッシュ

拡大する石油掘削用フィルターの需要に対応する生産拠点として、関西金網株式会社(材料メーカー)と合併で設立。

今期は、石油掘削用フィルターの生産が増加

材料メーカー・関西金網(株)と合併で設立した「タイシンタードメッシュ」は、拡大する石油掘削用フィルターの生産拠点です。油田開発が活発化する中東などへ向けて送られます。



当期の業績をご説明します。

2009年3月期は、下半期からの世界的な景況悪化の影響により、売上高が減少しました。それに伴い、経常利益、当期純利益も減少しております。

2009年3月期は、業績の悪化を考慮し、1株当たりの配当金に関しては、中間配当の8円のみとしております。

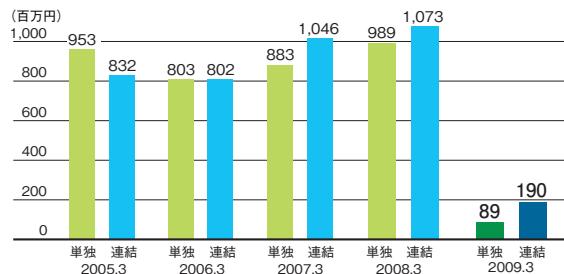
売上高

* 百万円未満は切り捨て。



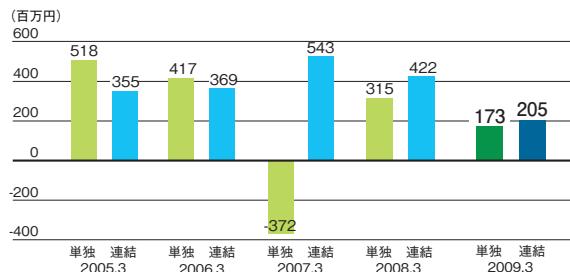
経常利益

* 百万円未満は切り捨て。

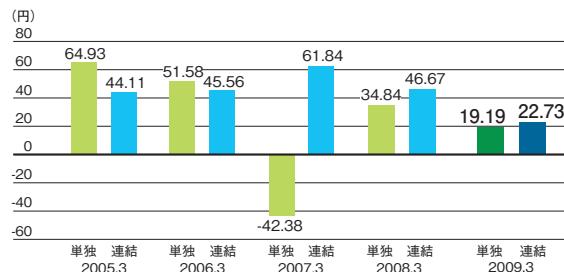


当期純利益

* 百万円未満は切り捨て。

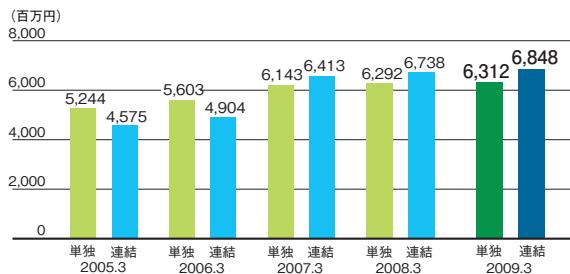


1株当たり当期純利益

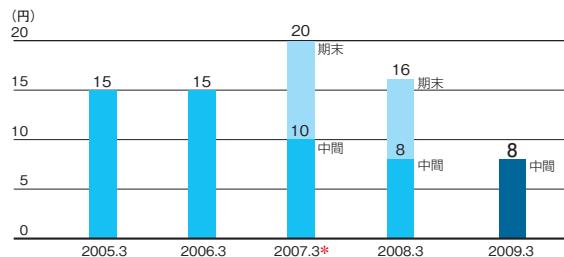


純資産額

* 百万円未満は切り捨て。



1株当たり配当金



* 2007年3月期の中間および期末配当はそれぞれ、普通配当金7円50銭、記念配当金2円50銭を加えた合計10円でした。

景気悪化の影響を受け減収減益。 早期の業績回復に向けた経営努力を重ねてまいります。

株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2009年3月期を終え、当社グループの業績と次期の見通しなどについてご質問にお答えする形でご説明いたします。

Q

当期の事業環境と業績について教えてください。

A

自動車関連事業は、景況悪化の影響を受けて下半期から停滞。
フィルタ事業は、海外向けが増加して増収となるも減益。

当社グループの主要な顧客業界である国内自動車産業は、当連結会計年度の上半期においては、ほぼ前年を上回る生産



代表取締役社長
古屋 元伸

台数で推移しました。しかし、米国の金融危機に端を発した景気悪化の影響による自動車需要の急速な収縮にともない、2009年1月以降の生産台数は記録的な減少となりました。

当社グループにおいても、とりわけ第4四半期以降、厳しい事業環境に直面し、当連結会計年度における連結売上高は103億9千4百万円(前期比17.4%減)となりました。また、損益面においても、売上高の減少から第4四半期は大幅な営業損失となり、営業利益は3億1千5百万円(前期比73.9%減)、経常利益は1億9千万円(同82.2%減)と前期を大きく下回りました。

事業分野別で見ると、ネットシェイプ事業では、上半期まではほぼ当初計画どおりの売上高で推移したものの、主要ユーザーの生産調整の影響を受けた第4四半期以降、急速に落ち込み、当事業の売上高は、62億3千2百万円(前期比17.4%減)でした。

事業別売上高の実績および次期業績予測

(単位:百万円)

	2008年 3月期 実績	2009年 3月期 実績	伸び率	2010年 3月期 計画	伸び率
ネットシェイプ事業	7,548	6,232	△ 17.4%	4,000	△ 35.8%
アッセンブリ事業	3,809	2,811	△ 26.2%	2,280	△ 18.9%
フィルタ事業	1,219	1,350	10.7%	1,220	△ 9.7%
連結計	12,577	10,394	△ 17.4%	7,500	△ 27.8%

* 百万円未満切り捨て。

【見直しに関する注意事項】

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直し及び計画に基づいた将来予測です。

これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

社長メッセージ

アッセンブリ事業でも、上半期は計画どおりの売上高で推移しましたが、下半期以降からVGターボチャージャー部品の主力納入先である欧州自動車市場が急速に落ち込み、売上高は28億1千1百万円(前期比26.2%減)でした。

フィルタ事業では、自動車関連に片寄らない顧客構成や石油掘削用フィルターの増加などによって、売上高は13億5千万円(前期比10.7%増)でした。しかし第4四半期以降は、原油価格下落による石油掘削用フィルターの生産減少や国内における設備投資の大幅減少の影響が現れてきています。

なお、2009年2月13日付でお知らせしたように、米国の金型生産拠点を日本に集約するため、米国子会社ニチダイアメリカの全株式をNARE CORPORATION(韓国・機械系商社)に譲渡しました。この子会社整理などにともない、ニチダイアメリカ関連の特別損失3億9千9百万円を計上したため、2億6千2百万円の税金等調整前純損失となりました。

一方、過年度に有税処理していたニチダイアメリカの欠損金等に係る繰延税金資産を計上したことから、当期純利益は2億5百万円(前期比51.3%減)となりました。

Q 次期の見通しと方策について教えてください。

A 上半期は引き続き厳しい経営環境。下半期から段階的に回復していくことを見込んでいます。

自動車産業では、次期前半には在庫調整が終了するとみられますが、本格的な回復には至らず緩やかな伸びになると考えられます。

当社グループの次期の業績は、上半期は引き続き厳しい経営環境によって停滞し、下半期から段階的に回復していく

実績および次期業績予測

(単位:百万円)

	2009年 3月期 実績	2010年3月期 計画			伸び率	
		上半期計画	下半期計画	合計		
売上高	10,394	3,100	4,400	7,500	△ 27.8%	
売上総利益	1,999	230	750	980	△ 51.0%	
販売管理費	1,683	715	755	1,470	△ 12.7%	
連結	営業利益	315	△ 485	△ 5	△ 490	-
	営業外損益	△ 124	△ 55	△ 65	△ 120	-
経常利益	190	△ 540	△ 70	△ 610	-	
当期純利益	205	△ 360	△ 40	△ 400	-	

* 百万円未満切り捨て

特販部門のスキーム

目的 北米地区の米系部品メーカーにおける、大型車部品生産の精密鍛造化に関わる金型及び精密鍛造品を供給。

販売の流れ



と見込んでおり、連結売上高75億円(前期比27.8%減)を計画しています。また、各事業ともにコスト抑制策を徹底的に推進するものの、売上高の大幅な減少から営業損失4億9千万円、経常損失6億1千万円となる見込みです。

当社グループではこの厳しい状況に対応するため、各事業で次の方策を講じることによって難局を乗り切りたいと考えています。

ネットシェイプ事業では、生産技術の強化によるコスト削減や当期実施の「ものづくり改革プロジェクト」の活動を引き続き、生産の「見える化」を推し進め納期短縮を図ります。また、当事業部内に特販部門を立ち上げ、米系部品メーカーの大型車部品生産に関わる精密鍛造化に対応していきます。大型車の部品は、乗用車と比べて精密鍛造化が遅れています。今後、この分野に関わる精密鍛造品や精密鍛造金型の需要が増えることを見据え、精密鍛造品の供給と開発支援にあたるほか、アジア地域の部品メーカーを通じて金型を供給していきます。

アッセンブリ事業では、原価低減プロジェクトを発足させて収益力向上に取り組むとともに、次世代製品としてガソリンターボ向け製品に着手します。また、中長期的なターボチャージャーの需要を見越し、新たな生産拠点であるニチダタイランドの年内稼働を目指します。

フィルタ事業では、フィルターの新用途・新規顧客の開拓のほか、ステンレス以外の素材も含めた新たな焼結加工を模索することによって焼結炉の多角利用を進め、既存需要の減少をカバーして通期黒字を目指します。

Q

配当について教えてください。

A

誠に遺憾ながら、当期の業績を鑑み期末配当を見送りとさせていただきます。また、業績回復までに時間を要することから、次期配当は無配を予定しています。

当社は、株主の皆様へ安定した配当を維持することが重要と考えておりますが、期末配当につきましては、業績が期初計画を大幅に下回る結果となったことから、誠に遺憾ながら見送りとさせていただきます。このため通期の配当は、実施済みの中間配当(1株あたり8円)のみとなります。

また、次期の配当については、引き続き厳しい経営環境下であり、業績回復までに時間を要することから、無配を予定しております。次期の配当につきましては、今後の業績の回復状況などを見ながら慎重に検討してまいります。

当社では、早期に利益還元ができるように経営努力を重ねてまいりますので、株主の皆さまには何卒ご理解のほどお願い申し上げます。また、当社グループの現況にご理解いただくとともに、今後の業績回復にご期待いただきますようお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役社長 古屋 元伸

主要連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前期	当期
	2008年 3月31日現在	2009年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,008	1,670
1 受取手形及び売掛金	2,989	2,090
たな卸資産	1,503	1,146
その他	127	500
貸倒引当金	△ 23	△ 3
流動資産計	5,605	5,404
固定資産		
2 有形固定資産	5,817	5,282
無形固定資産	43	31
3 投資その他の資産	252	795
固定資産計	6,114	6,110
繰延資産計	18	8
資産合計	11,738	11,522

* 百万円未満は切り捨て。

Check Point

- 1 売掛金の減少**
ネットシェイブ事業、アッセンブリ事業の売上高減少による。
- 2 有形固定資産の減少**
ニチダイアメリカ(NAC)譲渡及び設備投資抑制に伴う減少。
- 3 投資その他の資産の増加**
繰延税金資産の増加による。
- 4 買掛金の減少**
ネットシェイブ事業、アッセンブリ事業の売上高減少による。
- 5 長期借入金の増加**
ニチダイタイランド設立に伴う、工場用地取得、工場建設による。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前期	当期
	2008年 3月31日現在	2009年 3月31日現在
(負債の部)		
流動負債		
4 買掛金	749	231
短期借入金	754	612
一年以内に返済予定の長期借入金	652	615
一年以内に償還予定の社債	20	10
未払法人税等	210	56
賞与引当金	133	111
その他	517	410
流動負債計	3,037	2,047
固定負債		
社債	1,010	1,000
5 長期借入金	808	1,525
退職給付引当金	6	8
長期未払金	137	93
固定負債計	1,962	2,626
負債合計	5,000	4,674
(純資産の部)		
資本金	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	4,017	4,078
為替換算調整勘定	△ 9	△ 109
その他	7	△ 0
少数株主持分	100	257
純資産合計	6,738	6,848
負債・純資産合計	11,738	11,522

* 百万円未満は切り捨て。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前期	当期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
売上高	12,577	10,394
売上原価	9,525	8,395
売上総利益	3,051	1,999
販売費及び一般管理費	1,845	1,683
営業利益	1,205	315
営業外収益	50	44
営業外費用	182	168
経常利益	1,073	190
特別利益	2	30
6 特別損失	238	483
税金等調整前当期純利益(△は損失)	838	△ 262
法人税、住民税及び事業税	430	60
7 法人税等調整額	△ 2	△ 537
少数株主利益(△は損失)	△ 12	8
当期純利益	422	205

* 百万円未満は切り捨て。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前期	当期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2008年4月1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,389	1,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 573	△ 632
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 981	395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	△ 135
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	△ 171	661
現金及び現金同等物の期首残高	829	658
現金及び現金同等物の期末残高	658	1,320

* 百万円未満は切り捨て。

Check Point

6 特別損失

ニチダイアメリカを韓国・機械系商社NARE CORPORATIONに株式譲渡したことによる子会社株式売却損など、NAC関連で399百万円の特別損失を計上。

7 法人税等調整額

税務上の欠損金に税効果が認められ、繰延税金資産を計上したことによる。

8 財務活動によるキャッシュ・フローの増加

昨年度は、社債償還により大幅に減少。

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	1,429	1,192	4,017	△ 0	6,638	8	△ 9	△ 0	100	6,738
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 144		△ 144					△ 144
当期純利益			205		205					205
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 8	△ 100	△ 108	157	49
連結会計年度中の変動額合計	—	—	60	△ 0	60	△ 8	△ 100	△ 108	157	110
平成21年3月31日残高	1,429	1,192	4,078	△ 1	6,699	0	△ 109	△ 109	257	6,848

* 百万円未満は切り捨て。

会社概要

■ 会社概要 (2009年3月31日現在)

社名	株式会社ニチダイ
(英文表記)	NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市薪北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
事業内容	精密金型の開発・製造・販売 精密鍛造品及びその関連する成形品の 開発・製造・販売 各種ろ過装置及び金属ろ過材料の 開発・製造・販売 各種焼結金属の開発・製造・販売 精密部品の組立及び開発・製造・販売
従業員数	392人

■ 主要な事業所 (2009年3月31日現在)

本社	京都府京田辺市薪北町田13
宇治田原工場	京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14
熊谷営業所	埼玉県熊谷市桜木町2-88
浜松営業所	浜松市中区高丘西1-10-20
名古屋営業所	名古屋市千種区桜が丘295 第8オオタビル
京都営業所	京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14
岡山営業所	岡山県岡山市辰巳22-103 TCKビル

■ 役員 (2009年4月1日現在)

代表取締役社長	古屋元伸
常務取締役	西村謙 (特販事業統括 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長)
常務取締役	藤本光洋 (ネットシェイプ事業統括 兼 管理本部長)
取締役	瀬川秀実 (ネットシェイプ事業国内営業ゼネラルマネージャー)
取締役	島崎定 (ニチダイプレシジョン株式会社代表取締役社長 NICHIDAI (THAILAND) LTD. 社長)
取締役	畑中恵二 (ネットシェイプ事業海外営業ゼネラルマネージャー NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長)
取締役	平岩益夫 (ニチダイフィルタ株式会社代表取締役社長 THAI SINTERED MESH CO., LTD. 社長)
監査役(常勤)	萩野雅章
監査役	小原正敏
監査役	堤昌彦

■ 関連会社 (2009年4月1日現在)

NICHIDAI ASIA CO., LTD.

Amata Service Center Building Room 206/1 FL.2 700/2 Moo 1, Tambon Klongtamru, Amphur Muang, Chonburi 20000 Thailand

ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

THAI SINTERED MESH CO., LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand

ニチダイプレシジョン株式会社

京都府京田辺市薪北町田13

NICHIDAI (THAILAND) LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, TB. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

NICHIDAI U.S.A. CORPORATION

15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA

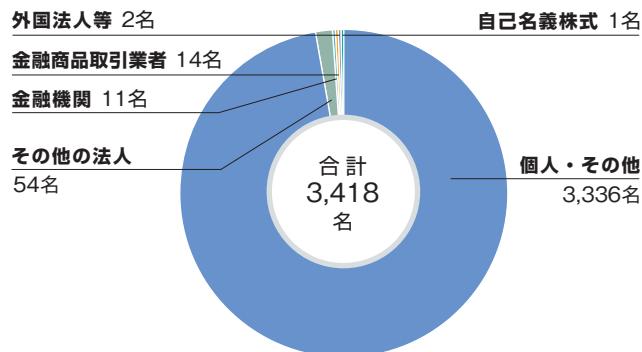
株式の状況 (2009年3月31日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	3,418名

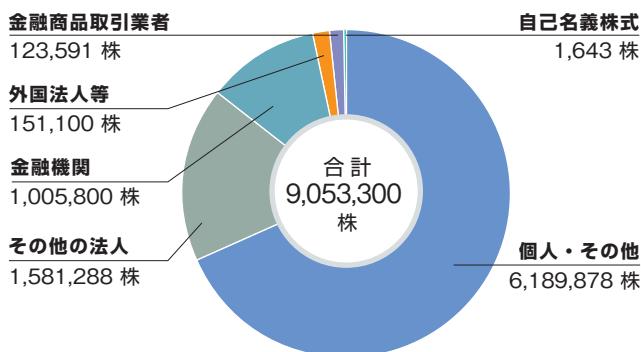
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
田中善昭	572,092	6.31%
ニチダイ従業員持株会	390,644	4.31%
田中克尚	307,036	3.39%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%

所有者別分布



所有者別株式数分布



アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。つきましては同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函頂きますようお願いいたします。今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

本 社 TEL.(0774)62-3481(代)



URL <http://www.nichidai.jp/>

ニチダイへの理解を深めていただくために、
ホームページをご活用ください。

当社工場を世界の研究者が見学されました

鍛造技術の世界的な研究者や技術者が集まる「国際精密鍛造セミナー」が、3月に京都市で開催され、当社も参加しました。5回目となる今回は、世界10カ国から約100名が参加。最新の技術動向が披露されるとともに、技術テーマについて活発な意見が交わされました。

当社はこのセミナーの開会式で歓迎挨拶を述べたほか、宇治田原工場に大勢の見学者を迎えるなど、交流促進に重要な役割を果たしました。今後も世界の研究者との交流を深めながら、先進技術の開発を進めていきます。



当社工場見学の模様

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777(通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法 電子公告

当社ホームページ(<http://www.nichidai.jp/>)
にて掲載

単 元 株 式 数 100株

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(フリーダイヤル) TEL.0120-244-479(本店証券代行部)

TEL.0120-684-479(大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>